

当院における網膜剥離手術症例の臨床的・検査的特徴 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年6月19日～2025年3月31日

〔研究課題〕 裂孔原性網膜剥離手術症例の臨床的特徴と形態機能相関

〔研究目的〕

当院における網膜剥離手術症例の術前後の検査所見等を評価、解析することで網膜剥離の臨床的・検査的特徴を明らかにすることです。

〔研究意義〕

網膜剥離は眼科緊急疾患の一つであり、未治療の場合は不可逆的な視力低下の原因となります。網膜剥離の原因は多彩であり、網膜剥離患者の背景や国籍、年齢分布、性差、術式や術後視予後なども様々です。しかし、これまで本邦において多症例の網膜剥離の臨床的・検査的特徴について述べている報告は少ない状況であります。

そこで、今回我々は過去に当院眼科で網膜剥離に対して手術が行われた症例を追跡し、術前後の検査所見等を評価、解析することで網膜剥離の臨床的・検査的特徴を明らかにし、網膜剥離発生の予防や術後の予後予測、予後改善につなげていくことを目的としています。

〔対象・研究方法〕

2019年1月1日から2023年12月31日までに帝京大学医学部附属溝口病院眼科で裂孔原性網膜剥離の手術を受けた患者さんです。対象人数は150から350名です。年齢、性別、既往、発症から手術までの時間、術式、角膜厚、角膜曲率半径、屈折、術前視力、術後視力、眼圧、視野検査、眼軸長、M-CHARTS、アニセイコニアテスト、カラー眼底所見、光断層干渉計(OCT)所見で測定した網膜脈絡膜像等を診療記録より収集します。この研究のために新たに検査する必要はありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 眼科

〔個人情報の取り扱い〕

現行指針に沿った本学での対応として、情報と研究対象者個人を連結する登録番号を設定し、研究対象番号と個人情報との照合に用いる対照表を作成し個人を特定できないようにします。

研究中のデータは当院眼科医局に保管します。

研究終了後、「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従い、各種書類は医学系研究倫理委員会事務局にデータ化して提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管します。

問い合わせ先

研究実施場 帝京大学医学部附属溝口病院眼科 眼科外来

研究責任者 ○帝京大学医学部附属溝口病院眼科 教授 今村 裕

研究情報管理責任者 ◎帝京大学医学部附属溝口病院眼科 講師 市川 良和

研究分担者 帝京大学医学部附属溝口病院眼科 教授 今村 裕

帝京大学医学部附属溝口病院眼科 講師 市川 良和

帝京大学医学部附属溝口病院眼科 助手 小宮 有子

帝京大学医学部附属溝口病院眼科 助手 藤本 太一
帝京大学医学部附属溝口病院眼科 助手 石川 宗元
帝京大学医学部附属溝口病院眼科 非常勤医師 三須奈保子

住所:神奈川県川崎市高津区二子 5 丁目 1-1

[TEL:044-844-3333](tel:044-844-3333)

(代表)今村 裕[内線 1881]